

第73次印旛地区教育研究集会

道徳研究部（中学校）

道徳的実践意欲を高めるための教育活動の工夫

～生徒が考え、主体的に行動できることを目指して～

令和5年8月22日
志津コミュニティセンター

成田市立玉造中学校
土屋 有紀
佐々木 早織
小川 大介

1. 研究主題

道徳的実践意欲を高めるための教育活動の工夫

～生徒が考え、主体的に行動できることを目指して～

2. 研究主題の設定

(1)本校の教育目標の観点から

本校の学校教育目標は「徳・知・体の調和がとれ、未来を切り拓く力を持った生徒の育成」となっている。「未来を切り拓く力」を持つために学校の研究主題としても「主体的に学びに向かう生徒の育成」を掲げている。「学び合い」を重視し、対話的コミュニケーションをとり、学びを深めていけるように日々教育活動を行っている。

また、目指す生徒像の一つに「思いやりの心もち、『誰かの役に立つ行い』を進んで実行する生徒」を掲げている。積極的に誰かの役に立ちたいと考える「道徳的実践意欲」を高めることが必要であると考え。

(2)生徒の実態から

本校は、1学年が2学級、2学年が3学級、3学年3学級に特別支援学級が3学級からなる244名の中規模校である。多くの生徒が授業に意欲的で、落ち着いて生活できている。

玉造中学校では、令和元年から新学社の「道徳アセスメント調査」を取り入れている。内容項目別の質問で、クラスや生徒の状況を把握できるようになったものである。22の内容項目別の生徒の日常に即した質問で構成されていて「あなただったらどうするか」「あなたはどんな気持ちになるか」などの質問にマークシートで答えていくものである。生徒の考えや行動を捉え、把握することができる。生徒の実態を捉えた上で、指導につなげてきた。令和4年度初めに実施したアセスメント調査の結果からは、道徳的実践意欲が課題であることがわかった。「そうしなければならないことはわかっているが、実践するのはなかなかできない」という意見もアンケートであがっている。中学校学習指導要領解説の特別の教科道徳編でも、「道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる」ことが目標として記述されており、道徳的判断力・心情を育てると共に、道徳的実践意欲を高めることは必要であると考え。よって、本校の道徳研究部では研究主題を「道徳的実践意欲を高めるための教育活動の工夫～生徒が考え、主体的に行動できることを目指して～」とし、道徳的実践意欲を高め、誰かの役に立つ行いを積極的にできる生徒の育成を目指すこととする。

3. 研究の目標

道徳の授業や教育活動を通じて、教師が道徳的実践を意識させることで生徒の道徳的実践意欲が高まることを明らかにする。

4. 研究の仮説

研究仮説 1

道徳の授業内で生徒が問題を自分事として考えられるような補助発問（＝問い返し）によって、道徳的実践の困難さを知り、自分なりに解決する方法を考えることで、道徳的実践意欲が高まるであろう。

研究仮説 2

学級活動や行事の際に「行動評価カード」を使用し、自分や他者の道徳的行為を可視化することで、身のまわりにある道徳的実践に気づき、自己有用感や自己肯定感が高まることで道徳的実践意欲も高まるであろう。

5. 研究の方法・内容

(1)本研究における「道徳的実践意欲の高まり」とは

中学校学習指導要領解説の特別の教科道徳編では道徳的実践意欲と態度とは「道徳的判断力や道徳的心情を基盤とし道徳的価値を自覚し、人間としての生き方について深く考え、日常生活や今後出会うであろう様々な場面および状況において、道徳的価値を実現するための適切な行為を主体的に選択し、実践することができるような内面的資質を意味している」としている。つまり、道徳的実践意欲がある状態とは、実生活で適切な行為を選択することや、実践として表出することと考えられる。

しかし、押谷由夫(2018)は「この道徳的実践意欲と態度は、すぐに道徳的実践に結びつくわけではない。道徳的実践へとつなげていくには、さらなるパワーが必要になる。それは目標意識であったり、義務感であったり、向上心であったり、決意であったりする。そのようなことを踏まえながら、道徳的実践意欲と態度の育成を図る必要がある。」としているように、「道徳的実践意欲がある」とことと、「道徳的実践ができる」とことは同義ではないことがわかる。研究目標を達成したい対象としている生徒は、現在道徳的実践ができていないことを考えると、授業等を通して道徳的実践が行われている様を見とれることが最もよいことではあるが、行為にはパワーが必要であり、そのパワーは経験上、中学校の3年間で大きく変化する。授業では集団に対して働きかけることが多いが、個々の実践力に大きくばらつきがある状態から実践へとつなげるための指導は画一的に行われるべきではないと考える。そのため、本研究では実践を行うパワーや決意の部分ではなく、「こういう場面がきたならばこのように行動してみたい」という内面的な部分に着目したい。実際に行動できなくても、この場面ではこのような行動がしたいと感じている状態に生徒が到達したことで道徳的な実践意欲の高まりを捉えていくこととする。

以上のことから、本研究での「道徳的実践意欲が高まっている」を以下のように定義する。

本研究における「道徳的実践意欲が高まっている」＝「具体的場面において自分自身の状態にあった道徳的実践の方法がわかっていること」

(2)本研究で行う補助発問(＝問い返し)について

事前調査で行ったアセスメント調査では、本校の生徒は道徳的価値の理解や道徳的心情に比べて、道徳的実践意欲が低いことがわかっている。ある具体的場面において道徳的価値や道徳的心情があるにも関わらず道徳的実践ができないのはなぜだろうか。その瞬間に行為を起こそうとするパワーや決意の部分が足りないのはもちろんなのだろうが、「こんな場面が来たらこのような行動を起こそう」というシミュレーションが足りないのではと考えた。

田沼茂紀(2022)は、「道徳科授業の中で生徒が自分事として価値理解したり、価値自覚したりできるのは普段の日常道徳生活との接点を見いだしたときです。」と述べている。授業内でも、実際にどのように行動するかという問いかけは行われると思うが、あくまで、登場人物の心情に寄り添った形でどうするかを考えていることが多い。実際に自分の行動力や人間性が反映された状態ならば最適な行動は何なんだろうかと、自分に置き換えて考えることを取り入れることで、その場面の行動に移す際に困難さが理解でき、自分に合った行動を考えることができるのではないかと考えた。そのため、本研究では問い返しを授業内に取り入れていくこととする。

山田貞二(2022)は、「授業を進めていく中で、生徒からねらいとする道徳的価値に関わる発言が出される場面が必ずあります。その発言をキーワードとして捉え、学級全体でそのキーワードについて考えさせれば、すべての生徒が深い学びを実現できるようになります。」と述べている。道徳的価値を含む発言が出た際には、教師がそれを評価したり、ただ板書でまとめてしまうのではなく、それを学級全体に対して投げかけ、深めていくことで、自分事として捉え、自分に合った具体的な行動が見えてくるはずである。つまり、本研究における道徳的実践意欲の高まりを達成できると考えた。

具体的な補助発問の方法については田沼(2022)を参考にして次のように整理した。

登場人物を自分に置き換えて考えさせるための問い返し

「もし、あなたがAさんと同じ立場だったら、どのようにしますか」＋「その理由は何ですか」

「あなたはAさんのように考え、行動することができますか」

「もし、Aさんが(物語内の行動)をしなかったら、(道徳的価値の非達成)ということになりますか」

・価値実現の難しさを考えさせる問い返し

「なぜ、(道徳的価値)が正しかったとわかっていたのに、行動に移せなかったのですか」

「あなたのいっている(道徳的価値)は(別の場面)だったらどうなりますか」

以上の補助発問を、授業内容に応じて、教師が意図的に多く取り入れることで、生徒に自分事として考えるきっかけを多く作っていく。

(3)行動評価カードについて

授業外で生徒の道徳的実践意欲を高めるための工夫として「行動評価カード」を用いた。本校の実態としてアセスメント調査の結果から道徳実践意欲が低いという結果を紹介した。しかし、職員研修の中で分析をしたところ、生徒の日常生活での様々なよい行いや、優しい気遣いができる場面が多く出てきた。そのことから、道徳実践ができていないと判断している原因の1つに、「自分や周りの人の行っているよい行いについての理解が足りない」と考えた。そのため、日常生活で助けてくれたことや、よい行動をしてくれたことを記録として残し、また、掲示したりすることによって、自分自身がしたよい行いや、他者の行為について知ることができ、「意外と自分は感謝されている」、「またやってみよう」、「このくらいのことだったらできそう」、「こういう行動を自分もしてみたいな」という機会を増やすことで、道徳実践意欲を高める効果があるのではないかと考えた。ワークシートはある学年で行っていた「学級の仲間になにかしてもらった時に、感謝の内容を葉っぱにかき、教室にある木の模造紙にはる」という「ありがとうの木」という活動を基に、学級のすべての友人に対して行事などの際に、その人のよかった点を書く行動評価カードを配布し、行うこととした。

右の図は、使用した行動評価カードの一例である。最初は個人から個人へ匿名の形で記述する形のものを採用したが、研究を進めていく中で改良を加えていき、クラス全員から個人へ行うものや、ロイロノートを活用して行ったものもある。また、後半は記入者がわかるようにして行った。「その生徒のよいところを書く、自分がされてうれしかったことを書く」ということについては一貫して取り組んだ。



図1 行動評価カード「心の種を育てよう」

(4)アセスメント調査の活用方法について

研究を進めていくに当たり、業者テストによるアセスメント調査を活用した（新学社『道徳アセスメント調査』※資料編参照）。アセスメント調査を行うことで「よく理解できている価値項目」、「理解はしているが良い行動をする自信がない価値項目」が個人、学級毎にまとめたデータを入手することができる。本校では、このアセスメント調査を次のように活用

した。

- ① 道徳の最初の授業でアセスメント調査を実施する。
- ② アセスメント調査の結果が届いたら、アセスメント調査を活用し道徳授業を次のような流れで1時間行う。
 - ア. 個人票を基に、自身の「よく理解できている価値項目」、「これから学んだ方が良い価値項目」、「理解はしているが良い行動をする自信がない価値項目」をノートに記入させ、教科書にも対応する箇所に印をつけさせ、意識させる。
 - イ. 担任は学級の「よく理解できている価値項目」、「これから学んだ方が良い価値項目」、題材などがどれだったかを紹介する。
 - ウ. 個人票を見て考えたこと、感じたことをポートフォリオに記入する。
- ③ アセスメント調査の結果を基に、職員研修で結果の分析を行った。結果の分析を基に、学年毎に道徳的实践意欲の低い価値項目を本時の目標に設定し、問い返しを意識した指導案を作成した。作成した指導案は、まず、一人の担任が実践しているところを学年職員で参観し、その反省点を基にさらなる問い返しを想定して、他の職員が授業実践を行うようにした。

以上、本研究の内容や方法を簡単にまとめると次のようになる。

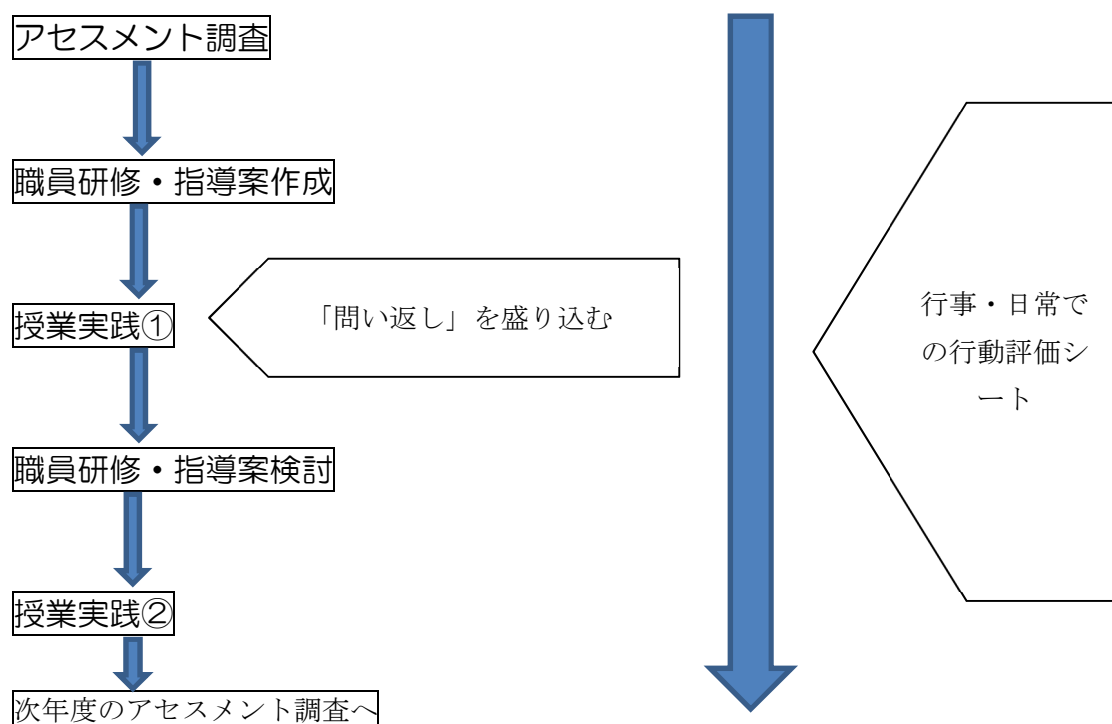


図2 本研究の流れ

6. 研究の実践

(1) 仮説1に対する実践

2 学年 「伝えるということ」 C-6 郷土の伝統と文化の尊重

出典：「中学道徳2 飛び出そう未来へ」教育出版

※指導案は資料編に掲載 問い返しは網掛けで記載

ア. 授業設定のねらいと問い返しの設定について

2 学年はアセスメント調査で価値項目 C-6 の郷土愛に関する意欲が低いことがわかった。成田市の伝統的な祭りである祇園祭は生徒たちにも身近な存在である。「伝えるということ」も地域の伝統行事に関する題材であるため、この題材を選定した。

身近な祇園祭ではあるが、学区としては離れており本校の生徒で主催者側として参加している生徒は少ない。見物客としての視点から、祭りを続けてきた人たちの視点にたって深く考えることで、祇園祭という伝統について真剣に考え、これからのどのように関わっていききたいか（＝道徳的実践意欲）につながると考えた。そこで、「お祭りに参加しているだけで伝統は守れるのだろうか」などと、今までの自分の関わり方を見直すような問い返しを設定するように心がけた。

イ. 内容

導入では、成田市で行われてきたいくつもの伝統行事について紹介し、続いている行事と行われなくなった行事について理由を考えた。その後「伝えるということ」を読んだ。次に、本文中の「私」は、どのような思いで踊りを残そうとしているのかを考え、「地域の伝統を守る」ために自分にできることを考える活動を行った。その後、問い返しを行い、伝統を守ることの難しさを感じさせ、その上で祇園祭を次の300年間続けていくためには自分に何ができるかを考えた。最後に、意見を共有し、感想をポートフォリオに記入した。



図3 授業の様子

ウ. 生徒の様子

「伝統行事」と聞くと、すぐに「成田の祇園祭」があがった。参加方法について聞くと学級の中でお囃子や山車に関わったことがある生徒は25人中3人程度だった。ほとんどの生徒は屋台を見に行くと答えていた。お祭りは身近なものであるが、どのように残していくかなどは考えたことがないようであった。最初は祇園祭

を残していくために「動画で紹介する」や「参加してお金をたくさん使う」など、他者の力を頼る外面的な意見が多かったが、「では、みんなで動画を撮影して投稿することで伝統が守れるということですね」、「お金を使ってもらうために、たくさんのお金を呼ばばいいのですね」と問い返しを行っていくことで、だんだんと主催者側の想いが重要であることや、お囃子などの受け継がれてきた祭りの内容を引き継いでいこうとする事の重要性に気づくことのできた生徒が多かった。また、最後に自分自身がこれからの祇園祭にどのように関わっていきたいかを改めて考えポートフォリオに記入することができていた。

(2) 仮説 2 に対する実践

ア. 概要

行動評価カード「心の種を育てよう」を用いて行った。教師から「してもらってうれしかったことや学級の仲間が頑張っていたところを書こう」と呼びかけ、級友同士で気づいた「良いところ」を匿名で記入した。記入した行動評価カードは、教師が目を通した後、それぞれの生徒に配付した。

イ. 行った時期

行う時期については、様々な生徒が活躍する機会の多い行事後がよいだろうと考えた。また、日々の学校生活の中で頑張っている生徒にも目を向けられるよう普段の生活にも継続的に取り入れ、全部で以下の 3 つの期間で行った。

R4 年 11 月合唱コンクール、R4 年 1 月～3 月の学級活動、R5 年 5 月体育祭

ウ. 生徒の反応

最初はどんなことを書いてよいのか迷う生徒も多く、書くのに時間がかかることが多かった。自分のことについて書かれたカードを手にとると熱心に読んでいた。活動を継続していくにつれて、ざっくばらんに感謝の気持ちや応援するようなメッセージを書くことのできる生徒が増え、周りの行動について意識して生活している様子がうかがえた。休みがちな生徒が行動カードのコメントをもらい、「見ていてくれたのだと思って嬉しかった」と生活記録ノートに記していたり、「(自分も) 見習いたい」と言った前向きな意見も見られたりした。体育祭後の実践では、係以外の生徒でも「リレー選手への声かけが嬉しかった」などの小さな良いことに気づいているコメントも見られた。

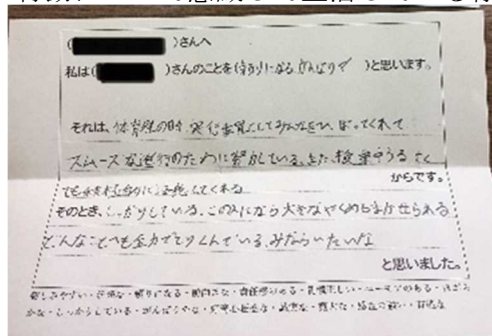


図 4 実際の行動評価カード

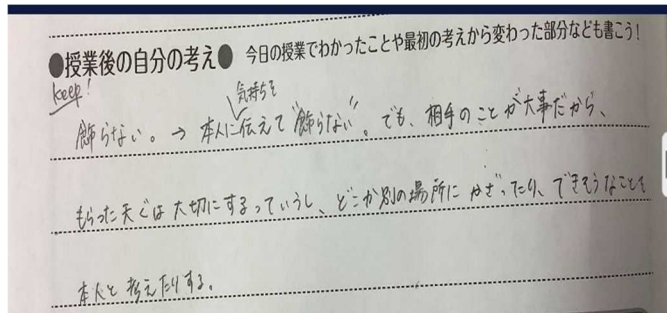
7. 研究の考察

(1) 仮説1に対する考察

ア. 生徒の様子から

2 学年での実践からは、問い返しを行うことで自分の発言をさらに考えて深めることができたと考えられる。また、3 年生での思いやりの価値項目に対しての授業では、友達に自分の思っていることを伝えるかを考える中で、自分の性格も加味し、自分だったらどうするかを考えることができていた。終末の段階では 31 名中 24 名が自分に置き換えて具体的に考えることができていた。中には「友達への誕生日プレゼント選びが難しくなった」等の意見もあり、他の場面でも活用できるように考え、日常生活に生かそうとする姿も見られた。これは、単に場面だけを見て道徳的価値の判断をするのではなく、自分に置き換えて考えられているという点で、本研究での道徳実践意欲の高まりの定義

「具体的場面において自分自身の状態にあった道徳的実践の方法がわかっていること」に当てはまっていると考えられるので、道徳的実践意欲が高まったといえるだろう。



イ. 各種調査から

次の図5、6はアセスメント調査の3年生の令和5年度結果である。図5ではA主として自分自身に関する事、B主として人との関わりに関する事、において理解と行動の差が縮まる結果が示されている。つまり、2つの領域でどのような行動を取ればよいかの理解と同程度にその行為をしようという意識があるということである。つまり、道徳的実践意欲が高まっていることがグラフから読み取れる。

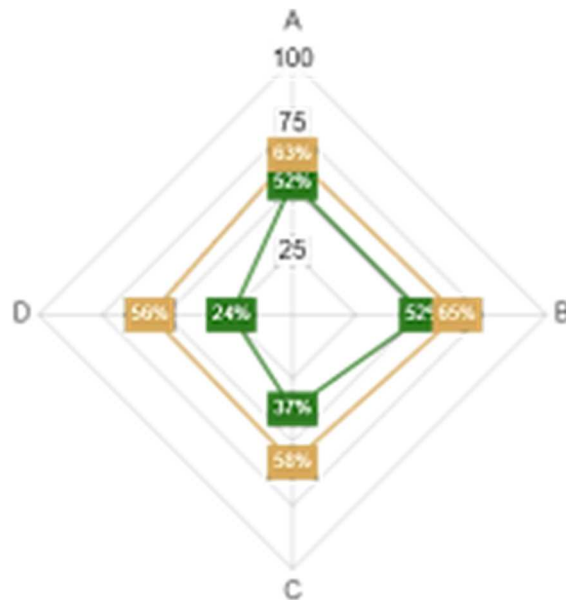


図5 アセスメント結果 (領域毎のまとめ)

黄色 (外側) : 理解 緑 (内側) : 行動

また、価値項目毎に示したものが、次の図6である。このグラフからは前年度に比べ、「思いやり」の項目などで、理解と実践の差が縮まった。逆に、「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」の「自然愛護」の項目など、理解と実践の差が広がったものもあった。日常生活と関連付けやすい題材かによって、授業内で実践について意識させた際に生徒の理解と行動の差が生じたためと考えられる。項目毎に差異はあったが特に人との関わりに関する事柄で、自分だったらどうするという考えが根付き、自分なりの方法を意識することにつながり、道徳的实践意欲が高まったといえるだろう。

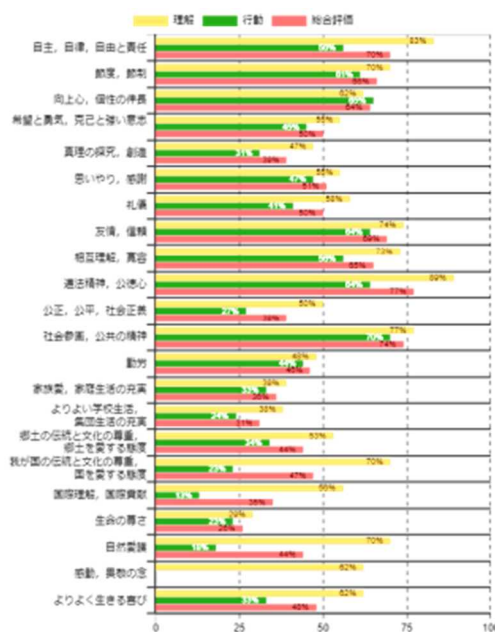


図6 アセスメント結果（価値項目毎のまとめ）

黄色：理解 緑：行動 赤：総合評価

上記ア、イより具体的場面において自分自身の状態にあった道徳的实践の方法について理解していると考えられるので道徳的实践意欲が高まったと考えられる。

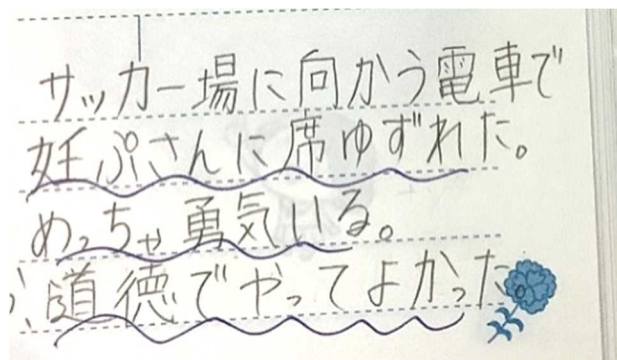
(2)仮説2に対する考察

「行動評価カード」を書かせることにより、周囲の良さに気づくことのできる生徒が増えたことがあげられる。始めた当初は、書くまでに時間がかかってしまう生徒が多かったが、活動を繰り返していくことで、短時間で書くことができる生徒が多くなった。よい行動が可視化され、幅広く認知されたことは道徳的实践への第一歩であったと考えられる。また、周りに評価してもらえたことで「これからもやっと思いこうと思った」などの感想が生活ノート等の記録に見られ、意欲につながっていることが感じられる。また、行動評価カードによって、自己肯定感が高まった生徒が多かった。本人はあまり気にしていない日常の行動についても、周りから褒められることで、「自分のしていることで喜んでいる人がいることがうれしい」とさらにやる気になっている様子もあった。応援団長をした生徒は行事の後に、皆から団長に対するねぎらいのコメントをもらい「最初は自信がなかったけれどやってよかった」と漏らしていた。行動評価カードによって、自分の行為に自信を持った生徒がいたことは成果の1つであると考えられる。

残念ながらアンケート結果などからは、数値的に上昇が見とれる項目はない。逆に「道徳科の授業は好きですか」の項目では、好きと答えた生徒は減少傾向にある。授業

や、実生活の中で、自分だったらどうするという場面に直面することが多くなったことで実際に行動することが難しいと感じた生徒がいたのではないかと推測される。本研究が生徒の道徳的心情・判断・実践意欲にどのように影響を与えたのかについては、今後もデータを取りながら研究を進めたい。

1 つ生徒の生活ノートの記述を紹介したい。3年生のある生徒が「サッカー場に向かう電車で妊婦さんに席を譲れた。めっちゃ勇気いる。道徳でやってよかった」と生活ノートに記載して提出してきた。担任が詳しく話を聞いてみると、電車内で立っている妊婦さんを見つけた際



に、2年生の道徳の「譲る気持ちはあるのに……」という題材で、電車内で妊婦さんが乗ってきたという同じような場面でどのようにしたらよいかを授業で考えたことが思い出され、勇気を持って声をかけることができたとのこと。1人の事例ではあるが、授業での経験が実生活に生きたと実感してくれた生徒がいたことはうれしいことである。今後も、最終的には生徒が生きる上で役立つ実践力を身につけるために、道徳を行っていききたい。

8. 成果と課題

(1) 成果

- ① 道徳の授業内で問い返しをすることによって、自身の問題として捉え、自分なりの方法を考えることができ、道徳的実践意欲が高まった。
- ② 学級活動や行事の際に「行動評価カード」を使用し、自分や他者の道徳的行為を可視化することで、自己肯定感が高まり、道徳的実践意欲につながった。

(2) 課題

- ① アンケートや、様々な見取りから道徳的実践意欲の高まりについて捉える方法について考えていかなければならない。
- ② 行動評価によって評価される行動と道徳的に価値の高い実践を学ぶ機会が必要であった。

9. 主要引用参考文献

- ・ 文部科学省 (2018), 『中学校学習指導要領解説特別の教科道徳編』, 教育出版
- ・ 押谷由夫 (2018年), 『指導と評価 1月号』, 図書文化
- ・ 田沼茂紀、山田貞二 他 (2022年), 『中学校道徳 指導スキル大全』, 明治図書

資料編

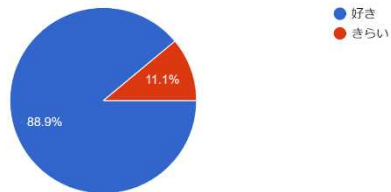
資料 1	アンケート結果	p 1 2 ~
資料 2	指導案	p 1 6 ~
資料 3	授業の様子、行動評価カードの記録	p 2 3 ~
資料 4	アセスメント調査について	p 2 7 ~

資料1 アンケート結果

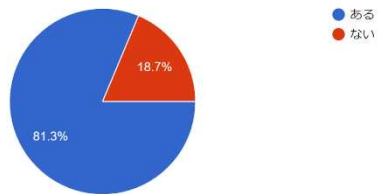
生徒向けアンケート

①左 令和4年度10月実施

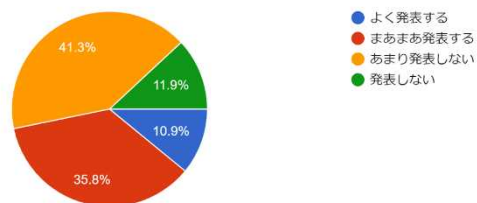
1 道徳の授業は好きですか。



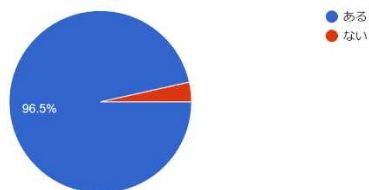
3 正しいとわかっていても行動できなかった経験がありますか。



6 道徳の授業で自分の意見を発表しますか。

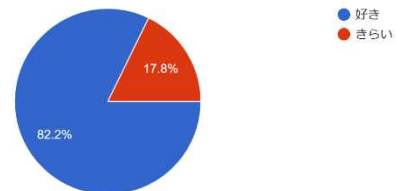


7 友だちの意見を聞いて、新しい発見をしたことがありますか。

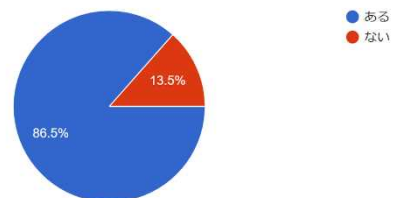


②右 令和4年度3月実施

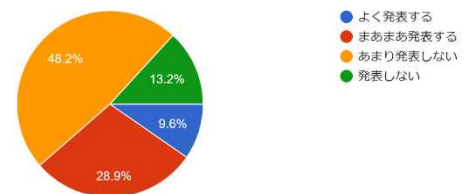
1 道徳の授業は好きですか。



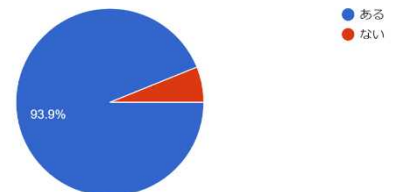
3 正しいとわかっていても行動できなかった経験がありますか。



6 道徳の授業で自分の意見を発表しますか。

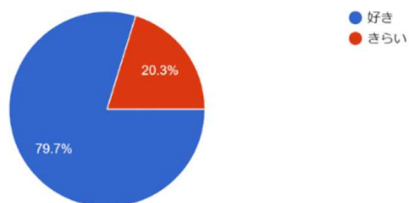


7 友だちの意見を聞いて、新しい発見をしたことがありますか。

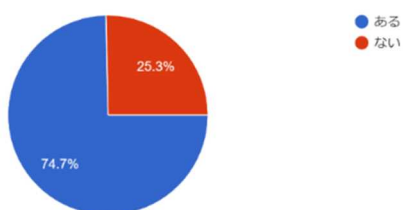


③令和5年5月実施

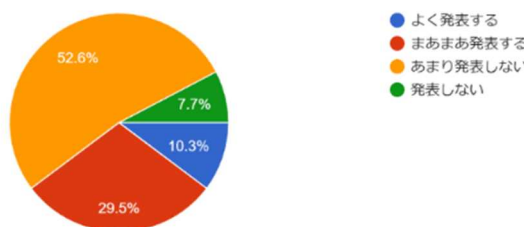
1 道徳の授業は好きですか。



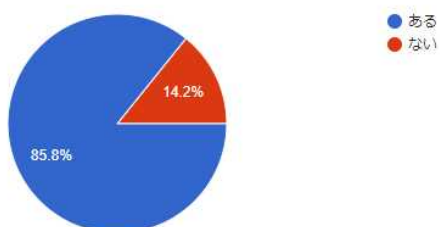
3 正しいとわかっていても行動できなかった経験がありますか。



6 道徳の授業で自分の意見を発表しますか。

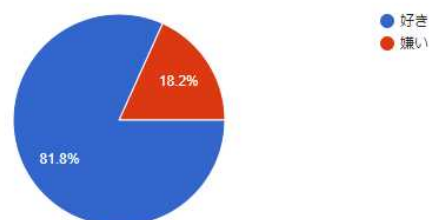


7 友だちの意見を聞いて、新しい発見をしたことがありますか。

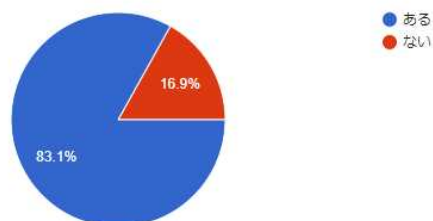


④令和5年7月実施

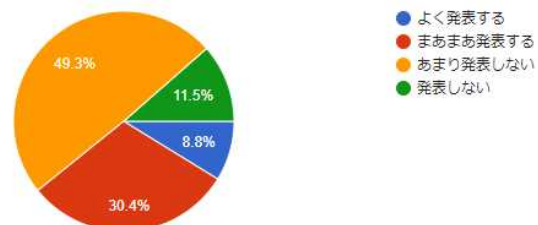
1 道徳科の授業は好きですか。



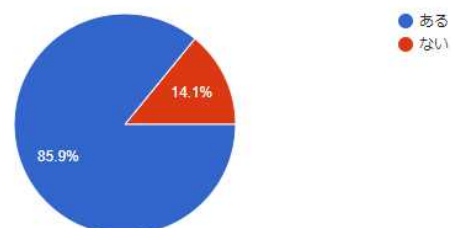
3 正しいとわかっていても行動できなかった経験がありますか。



6 道徳の授業で自分の意見を発表しますか。



7 友だちの意見を聞いて、新しい発見をしたことがありますか。



⑤記述アンケート結果

2. 「1. 道徳の授業が好き or 嫌いの理由を教えてください」

- ・色々な考え方がわかって楽しいから
- ・日常生活で必要なことを必要なことを学べる
- ・考えることや発表する事がむずかしいから
- ・今までの自分の行動を見直す機会となるから。
- ・日常生活で役立つ
- ・みんなの考えを聞いて新しく気づけることがあるから
- ・なんか日常で起きないようなことばかりだから

4. 「3の正しいとわかっているけども行動できなかったことはありますか。についてそれほど んなときですか」

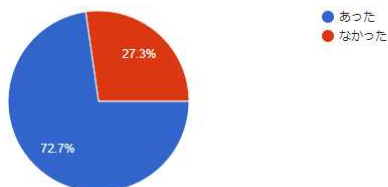
- ・迷ってる子に話しかけれなかった
- ・自分が正しい行動よりやりたいと思ったことを優先してしまった
- ・買い物に行ったときに、沢山の人のなかで迷子になって泣いてしまっている小さい子がいたが、結局声をかけられなかった。
- ・校外学習の時に、電車で騒がしくしている玉中生を注意できた。
- ・バスの座席を譲ろうとは思ったけどできなかった
- ・心に刺さる言葉が飛びかっている中言ったら何があるかわからなくて何も言えない時があった
- ・悩んでいる人を毎日気に掛けたら普通に明るくなった
- ・おばあちゃんが腰めっちゃ曲がってて前見えてないだろって感じの方だったから交差点渡るの手伝ってあげた。
- ・いじめられている人を見てみぬふりをしてしまった

5. 「正しいと思う行動をするには、どんなきっかけが必要だと思いますか。」

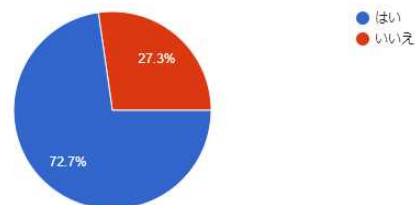
勇気を出す、自信を持つ、助けると言う気持ち、自分から動く、ずっと意識する
小さなことでもやる、人のことを考える、一人一人が強い思いを持つこと
自分を信じて行動する勇気を持つこと、心の芯
恥ずかしがらず勇気を出して話しかける、優しくする、決断力

職員アンケート

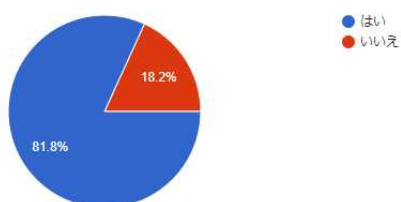
1-1. 昨年度からの研究（授業内の問い返し・行動評価アンケート）で生徒に良い変化はありましたか。



2-1. 問い返しの授業を進めた結果、生徒が活発になりましたか。



3-1. 問い返しを積極的に行うことで、道徳の授業に自信が持てるようになりましたか。



記述アンケート結果

1-2. 「あったと答えた方は、良い変化の内容を教えてください。」

- ・自分たちで設問に対してより考えるようになった。
- ・生活ノートに道徳でやった同じ場面で自分が良いと思う行動ができたと言った。行動評価アンケートの感想で頑張ったよかったや達成感を得られ、仲間のために進んで行動することが増えているように感じています。
- ・問い返しによって自分以外の考えを知ったり考えたりすることができるようになった。
- ・その項目についてより深く考えるようになった。

2-2. 「はいと答えた方は、どのようなところに生徒の変容を感じたか教えてください。」

- ・意見を発表する機会が増え、積極的に意見交換を行うようになった。
- ・よく考えるようになった。授業後は自分ごととして考える生徒が増えた。
- ・自ら、じゃあこれとは考えられるようになった。
- ・生徒同士の意見交換が活発になった。

資料2 指導案

① 1年生 主題名 思いやりの心 B-(6) 思いやり、感謝

(教材名「不自然な独り言」 出典「中学道徳1 教育出版」)

(1) ねらい

思いやりの気持ちを伝えようとする心について、ロールプレイを通して考え、相手の立場に立って思いやる心と実践しようとする意欲と態度を育てる。

(2) 展開

過程	時配	学習活動と主たる発問・ 予想される児童生徒の反応 〈問い返し〉	指導・支援 ○評価の視点	資料
導入	6	1 道徳的価値に対する方向付け ・他人にやってもらって嬉しかったことを発表させ、内容を黒板に板書する。 ロイロノート	・日常生活の中の身近な感謝の気持ちに気づかせる。 ・発表はどんな意見でも言える雰囲気を作る。 ・同意するか生徒に尋ねる。	タブ レッ ト 黒板
展開	5	・教材名とキーワード、テーマの提示 教材名「不自然な独り言」 キーワード、テーマ「思いやり」 ・教科書を開き、教員の音読を聞く p. 26～29	・僕の「助けてあげたいのに素直に言えない」様子がわかるように読む。	教科 書
	3	◎僕はなぜ不自然な独り言と動きで横断歩道を渡ったのだろうか。 ・「僕」はなぜ「不自然な独り言を言って、これまた不自然にゆっくりと横断歩道を渡った」のか数名の生徒を指名し、意見を黒板に書く。	・正しい判断を行動に移せない理由を考え、クラスで共有する。 (板書) 予想される生徒の考え ・勇気が出ない ・恥ずかしい	黒板
	10	〈問い返し〉	・各グループで出た意見をロ	班活

終末	10	<p>○もしあなたが「僕」だったら、どうしますか。理由は？</p> <p>○自分が目の不自由な人の立場だったら、声をかけてもらいたい？</p> <p>○勇気が出なかったり、恥ずかしさがあったりする人はどうすれば声をかけられるようになるのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうすれば声をかけられるか学び合いの班で考え、班で出た意見をロイロノートに提出する。 ・学び合いの班を作り、他の人の意見を確認する。 <p>○補足活動 教科書と同じ状況でどんな声かけができるか数名に演じてもらう。 (挙手制。誰も立候補しない場合は担任がやり、生徒を数名指名する。)</p>	<p>イロノートに送信する。全体で意見の確認をする。</p> <p>予想される生徒の考え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信号が変わりましたよ、と声をかける ・何もしない ・恥ずかしい、勇気がない ・声をかけてもらったら安心する。 <p>○他者への思いやりの大切さを考え、自分のことに置き換え行動に移す理由を見つけることができているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員がやる場合は生徒にやりたい役をやらせる。 ・声をかける側の気遣いや、助けてもらった側の双方の感情を尋ね、クラスで共有する。他人の思いやりで感謝していることを自覚し、クラスで共有する。 	<p>動 タブ レッ ト 黒板</p> <p>ロー ルプ レイ</p> <p>ポー トフ ォリ オ</p>
	10	<p>○終末発問 授業で学んだ思いやりの気持ちを元に「お年寄りに席をどうゆずるか」を考え、ポートフォリオに記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・思いやりの心をもつことの正しさを認め、それを伝えることで周囲の人がより良く生活できることを自覚させる。また、勇気をもって伝えることで相手から感謝されることにも気づかせる。 	

② 2年生 主題名 自分たちで伝統を継承する 内容項目名 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度 (内容項目番号C-(6))

(教材名「伝えるということ」 出典：「中学道徳②とびだそう未来へ」教育出版)

(1) ねらい

「伝統を守るとはどういうことか」という話し合いを通して、郷土の発展のためにできる自身の実践意欲と態度を育てる。

(2) 展開

過程	時配	学習活動と主たる発問・予想される児童生徒の反応 <問い返し>生徒から出た意見に問い返しをして考えを深める	支援及び指導上の留意点 (学習状況の見取りの視点) ・指導支援 ○評価 *特別な配慮	資料
導入	2分 8分	<p>1 題材名、ねらい(「地域の伝統を守るために自分にできることを考えよう」)をポートフォリオに書く。</p> <p>2 成田山祇園祭には302年の歴史がある。コロナ禍で2年間開催できなかった中、昨年復活させることができたが、復活が難しく途絶えてしまった伝統行事もある。それは何故だろう？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知名度が違う。 ・伝統を伝える人がいなくなってしまった。 ・やってくれる人がいなくなってしまった。 <p><問い返し></p> <ul style="list-style-type: none"> ・何でやらなくなってしまった？ <p>→忙しいから。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何で知名度が違う？ <p><問い返し2></p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ伝統を伝える人や、やってくれる人がいなくなってしまったのだろうか？ ・開催できたお祭りとはできないお祭りの違いは何だろうか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・題材名、ねらい(テーマ・キーワード)を板書する。 ・資料を見せ、挙手させて自由な発言を促す。 ・生徒の考えから問い返しをして、資料を読む際に中心発問である「伝統を守るためにできること」の内容に注目させる。 	<p>ポートフォリオ</p> <p>成田山祇園祭資料 西大須賀の神楽資料 北羽鳥香取神社の獅子舞(成田市無形文化遺産)資料</p>

展 開	5分	3 教科書を範読する。		
	5分	4 「私」はどんな思いで、踊りを残そうとしているのだろう。 ・ 伝統を受け継ぐことができるのは自分しかいないと思ったから。 ・ 踊りを見て感動してくれる人がいるから。 ・ 自分たちの踊りを支えてくれた人への恩返し。		
	10分	【中心発問】 5 「地域の伝統を守る」ために自分にできることは何だろうか？ ・ お祭りに参加する。 ・ お祭りに興味を持つ。 ・ お祭りの良さを伝える。 ・ 地域の伝統を学ぶ。	○「最初の自分の考え」をポートフォリオに書き、発表することができたか。 ・ 自分の意見を書けているか机間指導する。 (ポートフォリオ・発表)	
	10分	<問い返し> ・ 「お祭りに参加する」と答えた人は、どんな参加の仕方をした？ → ・ お祭りに行った。 ・ お祭りの役割に参加した。 ・ 親に連れて行かれた。 →それは「地域の伝統を守る」参加の仕方だろうか？ ・ 「伝統を学ぶ」と答えた人は、学ぶだけで伝統は守れるのだろうか？ (途絶えてしまった行事を例に) ・ お祭りをやっている人にインタビューをする。 ・ お祭りの準備から手伝う。 ・ 学んだことをまとめて発表する。 ・ 忙しくても自分の地域のお祭りに興味を持って、手伝えることを探す。	・ 少人数グループで問い返し内容（「伝統を守る」ために具体的に自分が実践できること）をさらに考える。 ○少人数グループで話し合うことで、より具体的な実践を想像することができたか。 ○自分が友達の意見は	

	10分	<p>6 本時の主題について考え、伝え合う。 「『地域の伝統を守る』とはどんなことだと思いますか」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の地域のことを考えること。 ・地域のために自分ができることを考え、行動すること。 ・誰かがやってくれると思わず、伝統を守るのは自分だと自覚を持つこと。 <p>ポートフォリオに一言感想を記入し、考えが変わったところをロイロノートに書いて発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「授業後の自分の考え」に記入させる。 ○「最初の自分の考え」からの変容に気がつき、実践意欲の高まりを実感することができているか。 	
--	-----	--	--	--

③ 3年生 主題名 本当の思いやり B－(6) 思いやり、感謝

(教材名「困ったプレゼント」 出典「NHK for school ココロ部」)

(1) ねらい

コジマくんが「自分の理想の店」と「鈴木くんからもらったプレゼント」の間で悩む姿を通して、「本当の思いやりとは何か」を考え、思いやりの心を持って人と接する実践意欲と態度を育てる。

(2) 展開

過程	時配	学習活動と主たる発問・予想される児童生徒の反応 (問い返し)	指導・支援 ○評価の視点	資料
導入	10分	<p>1 「こまったプレゼント」を視聴する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材名、ねらい(「本当の思いやり」について考えを深めよう。)をポートフォリオに書く。 ・コジマくんの立場に立って、視聴する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・題材名、ねらいを板書する。 ・コジマくんの状況について写真で簡単に説明してから視聴する。 ・コジマくんの立場に立って、番組を見るよう伝える。 ・番組前半【0分～4分40秒と6分17秒～7分33秒】を流す。 	タブレット TV ポートフォリオ
展開	30分	<p>2 「本当の思いやり」について考える</p>		

	<p>○コジマくんは何に困っているか。 <予想される生徒の反応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・鈴木くんからもらった「招きテング」のプレゼントが店の雰囲気合わないこと。 ・言いたいけど言えない。 <p>【中心発問】</p> <p>◎コジマくんはどうしたらよいか。 <予想される生徒の反応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・鈴木くんには悪いが、テングは飾らない。お店にお客が来なくなるから。 ・けがまでして作ってくれたから、お店に飾る。 ・自分の理想のお店には合わないから、店内の売り場には飾らないが、鈴木くんの気持ちを大切に控え室に飾る。 ・相手の気持ちは大事だけど、自分ががまんするのはよくないから、飾らないと言う。 ・鈴木くんに店に飾れないけど、控え室に飾ると言う。 ・写真を撮って、レジの脇においておくといい。気持ちを大事にしていることが伝わるから。 ・友達だからこそ、自分が決めたことを相手にちゃんと伝えることが大事だ。 <p><問い返し></p> <p>○コジマくんは鈴木くんに自分の思いを伝えたほうがよいのか？理由は？</p> <p>○もしコジマさんがてんぐを飾らなかつたり、飾らない理由を伝えなかつたりしたら、それは本当の思いやり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼントが善意であることをおさえる。 <ul style="list-style-type: none"> ・「最初の自分の考え」に記入させる。 ・行動と行動の理由を考えさせる。 ・ロイロノートに、自分の考えをあげる。 ・自分→学び合い班→クラス全体の順に伝えあう活動を実施する。 ・どの行動も「自分の理想の店」や「鈴木くんの思いやり」を考えた上での行動であることを確認したい。 ・行動の選択の理由を聞き合うことで自分の大切にしたい考えを明確にさせる。 ・伝え合う活動が飾るクラスか飾らないか、飾るならどこがいいかの論点で終わらないように問い返しをする。 ・学び合い班→クラス全体の順に伝え合う活動をする。 ・よりよい行動の選択や自分の大切にしたい考えを明確にさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・コジマくんは鈴木くんに自分の思いを伝えた方がよいか問い返して考えさせる。 	<p>ポートフォリオタブレット</p>
--	--	---	---------------------

		<p>とは言えませんか？</p> <p>○もしあなたがコジマさんと同じ立場だったらどうしますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黙っているのは本当の思いやりではないから伝えた方がよい。 ・黙っていることが本当の思いやりするときもあると思う。今回は言った方がよいと思うけど。 ・鈴木くんの思いやりの気持ちも大切だけど、自分の気持ちを大事だから、丁寧に言葉を選んで伝えたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達だからこそ悩むこともあるが、その上で気持ちを伝えあうことの大切さに気付かせる。 <p>○学び合い班で話し合うことで、「本当の思いやりとは何か」を考えて、よりよい行動の選択ができているか。</p>	
終末	10分	<p>3 「本当の思いやり」とは何かをまとめる</p> <p>○本当の思いやりとは何か。</p> <p><予想される生徒の反応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・本当の友達なら、言いにくいことも言うことが本当の思いやりである。 ・相手のことを考えて悩むのはわかるが、友達ならお互いにきちんと話すことが大事。 ・自分も友達も大事にすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオの「最後の自分の考え」に自分の考えをまとめる。 ・最初の考えと変化があった記述を、取り上げて紹介する。 <p>○「最初の自分の考え」からの変容に気がつき、実践意欲の高まりを実感することができているか。</p>	ポートフォリオ

資料3 授業の様子、ワークシートなど



図1 授業実践の様子1



図2 授業実践の様子2



図3 授業実践の様子3

●授業後の自分の考え● 今日の授業でわかったことや最初の考えから変わった部分なども書こう!

keep! 飾らない。 → 本^{気持ち}に依^りって「飾らない」。でも、相手のことが大事だから、
もらったものは大切にすっていいし、どこか別の場所に「おまけ」たり、できそうなこと
本とちがえたりする。

●授業後の自分の考え● 今日の授業でわかったことや最初の考えから変わった部分なども書こう!

友達への誕プレ選^びが「おす^かしくな^った
自分がコンマくんた^ったことわ^からないか^もし^らぬ^でい^い

●授業後の自分の考え● 今日の授業でわかったことや最初の考えから変わった部分なども書こう!

かざる
やっぱり、自分の^ことも思^って^くれ^たのに、かざる^ないのは申し訳^ないから、
かざる方法も、テングの色をかえたり、な^いいろをかえたりできると思^った

●授業後の自分の考え● 今日の授業でわかったことや最初の考えから変わった部分なども書こう!

外にかさ^いる
何かあ^っても相手優先^で

・行動評価カード（1人から1人ver）

心の種を育てよう(合唱コンクールVer)

誰かの努力が、誰かを支えて励まし育てる。そんな心の種を見つけよう。

さんへ

合唱コンクールでポスターを書いてくれて
ありがとう。また普段、誰と誰優しく接してく
れてありがとう。

心の種を育てよう(合唱コンクールVer)

誰かの努力が、誰かを支えて励まし育てる。そんな心の種を見つけよう。

さんへ

バネリも頑張っていて進んでくれて、ありがとう。合唱コンク
ール、大きな声で歌っていて、すごく良いなと思っていてよ
何事にも一生懸命取り組んでいて、すごいよね!!
いつも優しいなと思う!! ありがとう!!

心の種を育てよう(合唱コンクールVer)

誰かの努力が、誰かを支えて励まし育てる。そんな心の種を見つけよう。

さんへ

いつもきれいな声でソプラノパートを支えてく
れてありがとう! 1年生の時から席が近くな
たら話しかけてくれてありがとう! すごく嬉しいです!
校外学習ではま、たくさん関わる事がなかったけれど
修学旅行で同じ班にな、たよりしくね!

心の種を育てよう(合唱コンクールVer)

誰かの努力が、誰かを支えて励まし育てる。そんな心の種を見つけよう。

さんへ

合唱コンクールのときや、マウカいかくシャウのわくわ
く歌声委員会として1人でわくわくしてわくわくして
くれてありがとうごさりました。わくわくのわくわく
ごさる。

→ (印)
私の心にこの輪

・行動評価カード (みんなから1人 タブレット ver)

歌声活動を頑張っている。 2/27日(水) 15:04	数学の時間に、いつも気にしてくれる。 2/27日(水) 15:04	いつも相談あったりしてくれてありがとね！絵が上手すぎてほんっどに尊敬してる〜これからもよろしくね 2/27日(水) 15:04	周りに気を配っていて、助かってるよ 2/27日(水) 15:04	いつも明るくて、羨ましいイメージある！ 2/27日(水) 15:04	誰とでも仲良くできるところ 2/27日(水) 15:04	いつも優しい性格が明るい国語係で辞書を忘れずに持ってきてくれる 2/27日(水) 15:04
まなみいつも明るくみんなに優しくしている 2/27日(水) 15:04	絵が上手い 2/27日(水) 15:04	学習委員会と勉強頑張っている 2/27日(水) 15:04	優しい！話しやすい！絵が上手！ 2/27日(水) 15:04	国語係で辞書運ぶのを頑張っている 2/27日(水) 15:04	一人でトイレ掃除を頑張っていた。英語教えてくれた。 2/27日(水) 15:04	歌の練習しているとき、テレビをつけるのを手伝っていた。テニス頑張ってる。 2/27日(水) 15:04
学習委員会と国語係をがんばっている 2/27日(水) 15:04	いつも絵を描いてくれます。ありがとう 2/27日(水) 15:04	係の仕事 2/27日(水) 15:04	元気明るい面白い絵上手い 2/27日(水) 15:04	と朝片言に私しごとを呼び出して夜寝ている 2/27日(水) 15:04	・絵が上手！ ・優しい ・面白い 2/27日(水) 15:04	いつも元気、優しい、面白い。国語係で辞書持ってきてくれる。一緒にいると楽しい。 2/27日(水) 15:04
いつも色んな場面で助けられてありがとう！まなみには本当に感謝してます！色々な人とコミュニケーション取れるのは本当にすごい事だと思う！ 2/27日(水) 15:04	絵がうますぎる 2/27日(水) 15:04	・雑談を話ってくれた ・私にくだらない話も面白く話を聞いてくれる ・顔の表情を豊かにさせてくれる 2/27日(水) 15:04	2/27日(水) 15:04	2/27日(水) 15:04	2/27日(水) 15:04	委員会活動がんばっている 2/26日(火) 14:52
いつも係の仕事をしっかりやっけていていいね 2/27日(水) 15:04	委員会がんばってる 2/27日(水) 15:04					

2/27日(水) 15:04	私のくだらない話を何も言わずにさせてくれる 2/27日(水) 15:04	楽しんでいるらしいと 2/27日(水) 15:04	ハンカチチェックを頑張っている。 2/27日(水) 15:04	数学証明教えてくれる 2/27日(水) 15:04	衛生委員会をよくがんばっている 2/27日(水) 15:04	優しい元気話しかけてくれる 2/27日(水) 15:04
えまいつもみんなと仲良くしている 2/27日(水) 15:04	衛生委員の配膳の時の仕事を頑張っている。 2/27日(水) 15:04	いつも明るく丁寧に仕事に取り組んでいて頑張ってますね 2/27日(水) 15:04	ハンカチチェック頑張ってる。 2/27日(水) 15:04	衛生委員の仕事を真面目に取り組んでいる 2/27日(水) 15:04	勉強でわからないところがあった時、いつもおしえてくれた。 2/27日(水) 15:04	帰りのがえの時係の仕事頑張っていた。 2/27日(水) 15:04
優しい、面白い、ノリがいい、可愛い、楽しい 2/27日(水) 15:04	積極的で良いと思った！ 2/27日(水) 15:04	・優しい ・委員会代表として取り組んでいるところ ・聞き上手 2/27日(水) 15:04	委員会内でチェックをしている。 2/27日(水) 15:04	2/27日(水) 15:04	たまに、一緒に帰る時に話してくれたり委員会をがんばっている。 2/27日(水) 15:04	水泳の授業のときにいろいろ教えてくれたいつも優しい 2/27日(水) 15:04
話しやすい！優しい！話が合う！ 2/27日(水) 15:04	2/27日(水) 15:04	委員会を頑張っている 2/27日(水) 15:04	係の仕事を頑張っている 2/27日(水) 15:04	みんなと積極的に話した。 2/27日(水) 15:04	衛生の仕事頑張ってる。分からないところを教えてくれる！ 2/27日(水) 15:04	いつも明るくみんなと話しているいいね 2/27日(水) 15:04
委員会がんばってる 2/27日(水) 15:04						

資料4 アセスメント調査

アセスメント調査用紙

- 1 友達と計画を立てて、休日に少し遠い街に買い物に来ました。途中までは計画どおりでしたが、思ったよりも混雑している店があり、このまま計画どおりに買い物を続けると家の人と約束した時間に帰宅できそうにありません。残りの計画は、友達が「どうしても行きたい。」と言っていた店と、わたしがどうしても行きたかった店です。



〈気持ち・考え〉

問1 このとき、あなたはどのような気持ちになりますか？ 次から最も近いものを1つ選びましょう。

- ① 自分ではどうしたらよいかわからない。
- ② どうしたら約束の時間に間に合うように帰れるかな。
- ③ せっかく決めた計画だから、時間に間に合わなくても実行しよう。

〈行動〉

問2 このとき、あなただったらどのようなことをしますか？ 次から最も近いものを1つ選びましょう。

- ① 約束の時間までに帰宅するため、友達に計画の変更を相談する。
- ② そのまま計画どおりに店を回る。
- ③ 「このままでは約束の時間に帰れないね。」と友達に言う。

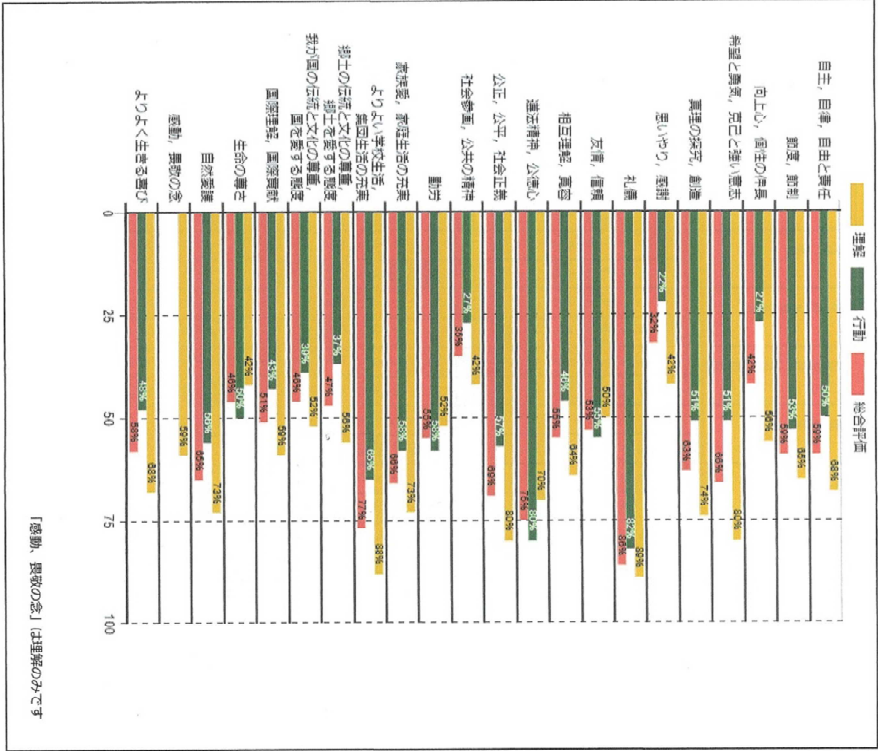
問3 問2の行動を、あなたはどれくらいできると思いますか？ 次から1つ選びましょう。

- ① 必ずすると思う。
- ② すると思う。
- ③ たぶんすると思う。

マークシート①②③の中から一つだけ選んで、えんぴつでぬりつぶしましょう。

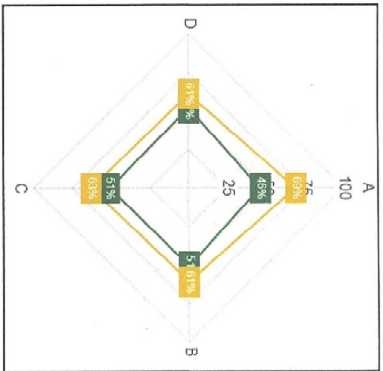
アセスメント結果 (職員用 クラス票)

クラスの資料
2年 A組



「感動、畏敬の念」は理解のみです

4つの視点



理解
行動
A 主として自身に関する事
B 主として人との関わりに関する事
C 主として集団や社会との関わりに関する事
D 主として自然や社会との関わりに関する事

教科書会社：教出

●結果分析
●いいところ
道徳的価値の理解が深く、道徳的行為の実践意欲が高い内容項目は、「礼儀」「よりよい学校生活、集団生活の充実」「道徳精神、公徳心」です。
・教科書との関連… 「一枚のはがき」「三年生を送る会」「怒りの救助活動」「違反摘発」

◆課題
道徳的価値の理解が低く、道徳的行為の実践意欲が低い内容項目は、「思いやり、感謝」「社会参画、公共の精神」「向上心、個性の伸長」です。
・教科書との関連… 「夜の果物屋」「贈る気持ちはあるのに…」[まだ食べられるのに]「復旧にとどまらず、復興を〜後藤新平〜」「五万回斬られた男・福本清三」

☆理解と行動の不一致
道徳的価値の理解と、道徳的行為の実践意欲の差が大きい内容項目は、「希望と勇気、克己と強い意志」「向上心、個性の伸長」「よりよい学校生活、集団生活の充実」です。これは、良い行為と知っていたいながら、行う自覚がなかったり、迷いがあったりすることを表しています。
・教科書との関連… 「短剣を武器とせよ」「五万回斬られた男・福本清三」「三年生を送る会」

○4つの視点から
全体として「A 主として自分自身に関する事」の意識が高く、「B 主として人との関わりに関する事」の意識がやや低いようです。